

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 交換留学期間終了後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	シンガポール国立大学 (国名:シンガポール)	
留学先学部名(またはプログラム名)	理学部	
留学期間	2016 年 8 月 ~ 2017 年 5 月	
学部/学府・年次	理学部/学府	3 年次~ 3 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 1 年間)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため ④. その他(具体的に記入) 必修である実験の単位を交換留学では取得できないため。	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / () 年 () 月から) ②. 大学院進学 (未定 大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	モジュールと言われる授業の単位であり、一週間で2コマの 1.5 時間の授業、1 コマの 1 時間のチュートリアルで1モジュールである。 CM3421 などの表記をされ、初めのアルファベットが専攻科目、最初の数字がレベルを表している。レベルは1-5まであり、おおむね学年と同じ数のレベルもモジュールを取ればふさわしいレベルであると思われる。 Student Pass の要件で、一学期につき3-5モジュールを取ることを求められるが、4モジュール程度がちょうどいい。	

留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)	特になし
留学先大学に対する感想	学生の勉強意欲が素晴らしく、シンガポール人はみんな真面目なので勉強を頑張りたい人にはお勧めの大学。授業のレベルも高く、ついていくのに必死というレベルである。しかし、研究設備については九大の方が良いかもしれない。 大学からの留学生へのケアは全くないが、留学生が集まるイベントなどがあるのでそれに参加するといいいと思う。

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>NUS に来るからには勉強や研究を頑張るという意欲とやる気が何よりも重要だと思う。</p>
--------------------------------	--

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>Student Pass</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>NUS を通して</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>・健康診断書(HIV と結核)は日本で準備しても良いが、公式の英訳が必要なので病院で医師にお願いする必要がある。現地で NUS の UHC(University Health Centre)で受診する人もいる。(その方が安いらしい。) 受診した病院: 博多ひのきクリニック http://hinoki-clinic.com/ ・パスポートの原本とコピー ・パスポートサイズの証明写真 SOLAR system という web サイトで登録などを行う。 NUS で留学生が一斉に手続きを行う日があるので、そこで済ませた。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>数日</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>特になし。</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>ご飯は安くておいしく、シンガポール料理や中華料理を初め、世界中の食べ物を食べることができる。日本食が恋しくなったら、やよい軒や大戸屋、ココイチを初め、意外と本格的な日本食レストランがあるので問題ない。</p> <p>交通の便も MRT やバスがシンガポール全体を網羅しているので、不便だと感じたこともない。</p> <p>シンガポールだけで、1年近く生活となると飽きるが、それだけすることもないので勉強に集中できておすすめである。また交換留学生は近隣の国々に旅行に行く人も多い。</p> <p>総じて、日本人にとっては、日本以外では、世界で一番生活しやすい国だと思う。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 80000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 50000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 25000 円、電話代: 0 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 0 円</p> <p>その他:(具体的に)SIM カードのデータ通信料、交通費など 5000 円</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0 円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>変換プラグ(周辺国を旅行したい場合は世界対応のもの)、パソコン、現金、クレジットカード、スマートフォン、証明写真 2-3 枚、長袖のパーカー(講義室はエアコンで非常に寒い)、体重計(自身の体重もさることながら、帰国時受託手荷物の重量オーバーが気になる場合は必要)、地球の歩き方(旅行したければシンガポールだけでなく近隣諸国もあればなおよい)</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>治安に関しては日本よりも安全であり、何も心配することはない。</p> <p>モバイルデータについては、私のスマートフォンが iPhone6 で、SIM フリーではなかったため、現地でスマートフォンを購入し、SIM カードを入れ、テザリングしていた。</p> <p>ジカ熱やデング熱は日常茶飯事である。蚊に刺されないことなど不可能なので、妊婦以外の現地人は誰も気にしていない。病気に関する心配も特になく、予防接種等も特に必要ないと思われる。(インドネシアのバリ島などに長期滞在する場合は狂犬病などの予防接種は必要かもしれない。)</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>新生銀行の口座を開設し、シンガポールや周辺国の ATM からお金をおろせるようにした他、現金をある程度持っていき、現地で両替した。(現地で両替するほうが手数料は少なく済む)</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	PGP(前期)/UTown Residence(後期)	
費用(月額)	PGP 35000-40000 円/UTown 50000-60000 円	
どのようにして見つけたか	NUS からの斡旋	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	PGP はあまりお勧めできない。全体的に汚く、立地も駅からは近いが大学の中心からは遠く、充実はしていない。 UTown Residence は、非常にお勧めできる。まさに大学の中心であり、スーパーやコンビニ、薬局や美容院までそろっており、外に出る必要があまりないほどである。エアコン付きの部屋を選べば、さらに快適である。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	特になし	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
特になし		

--	--	--

6. その他の特記事項

飛行機のチケットを予約する際は、LCCを選ぶよりも ANA や JAL などの一般の航空会社のチケットを往復でとり、帰りのチケットをオープンチケットにする方がお勧めである。